

林試だより

第 89 号

令和 8 年 3 月 15 日

発行／群馬県林業試験場 TEL 027-373-2300 FAX 027-373-1036
 URL <http://www.pref.gunma.jp> E-mail rinshi@pref.gunma.lg.jp

CONTENTS

- <新規課題> 県産種苗の生産技術の高度化・高品質化に関する研究…………… 1
 県産木材の強度性能データベースに関する研究…………… 2
 群馬県産広葉樹材の高付加価値生産技術開発…………… 3
 <シリーズ> 野山の食べられる植物ガイド…………… 4
 <トピックス> 第38回研究功績賞表彰の受賞について…………… 4

新規課題

県産種苗の生産技術の高度化・高品質化に関する研究 (令和 7～10年度)

森林科学係
 吉間 慎

1 はじめに

戦後植栽されたスギ、ヒノキ等が収穫期を迎え、各地で効率的かつ作業コストを抑えた皆伐再造林一貫作業が進められています。これに伴い、コンテナ苗木の利用も進んでいます。植栽後の苗の成長には充実した根鉢の形成が不可欠です。そこで、苗木生産者の均一で良質なコンテナ苗の生産をサポートする、育苗技術向上の研究に取り組みます。また、結実の豊凶差により種子生産量が不安定なカラマツについて、施設環境を利用した「さし木」による増殖試験を実施し、苗木の安定生産に向けた技術研究を行います。

2 方法

(1)コンテナ苗の生産技術高度化試験

コンテナ苗の充実を図るため、コンテナ培土の利用状況を苗木生産者に聞き取り、本県の気候に適した活着の良い苗木生産技術を研究します。また、温暖化による育苗期間や作業時期への影響を考慮した作業適期を明らかにするために調査を実施し、新規苗木生産者に向けた育苗技術マニュアルを作成します。

(2)カラマツさし木の増殖試験

カラマツのさし木では、高温条件下で枯死や萎れが生じやすいという課題があります。この



写真-1 スギコンテナ苗



写真-2 カラマツさし木

高齢林から生産された大断面長尺材の性能評価、製材木取方法の検討も併せて実施します。

※ スパン表とは

様々な建築(荷重)条件から、あらかじめ構造計算を行い、構造用木材の必要な断面寸法や長さを表記したものの。

新規課題

群馬県産広葉樹材の高付加価値生産技術開発 (令和7～9年度)

木材係
小島 元路

1 はじめに

近年国産広葉樹材利用の関心が高まる中で、林業試験場では県産広葉樹資源の有効活用を目的として、広葉樹材利用についての研究を行ってきました。これまでに、県内で生産可能ないくつかの樹種について乾燥試験を実施し、乾燥特性を解明しています。

また、ギター製作会社から、国産広葉樹材のギター利用について相談があったことをきっかけに、県産広葉樹材の楽器利用に向けた取組も開始しました。

これらを踏まえ、今年度からは、県産広葉樹材を高付加価値利用するための生産技術開発、さらには楽器などの高価な製品への利用を想定した樹種ごとの特性の解明を行います。

2 方法

本研究では、以下の3つの項目を実施予定です。

(1) 広葉樹材の加工試験

樹種ごとの製材、加工に関する特性、難易度を明らかにします。また、樹種ごと木目などの特徴を生かす加工技術を開発します。

(2) 広葉樹材の乾燥技術開発

割れや狂いを抑え、効率的に乾燥できる乾燥方法を樹種ごとに開発します。木材の乾燥方法には熱や減圧、高周波などいくつか種類があるため、複数の方法で試験を実施し、樹種ごとに最適な方法を選定します。

(3) 音響特性分析

木材の音響に関する試験を実施し、樹種ごとの音響特性を分析します。また、実際に楽器を試作し、使用感を調査します。



写真一 群馬県産ヤマザクラ材



写真二 加工途中のエレキギター

No.2 ヤマウコギ（山五加）

ヤマウコギは、山菜でおなじみのタラの芽(タラノキ)やウドと同じ仲間の落葉低木です。ウコギの仲間は山菜として親しまれている種類が多く、コシアブラやハリギリなども食用として知られています。ヤマウコギは、林縁や山地の明るい日陰など少し湿った場所に多く、再生林地で実生に出会うこともあります。

春から初夏の若葉や新芽を食用にします。天ぷらやおひたしもいいですが、おすすめは炊き込みご飯「ウコギ飯」です。軽く茹でて細かく刻み、白米と一緒にいつもどおり炊くだけです。炊きあがりに塩を適量かけると、春の爽やかな香りを楽しめます。より山菜らしさを感じたい方は、茹でて刻んだ葉をご飯に混ぜ込む“後混ぜ”も良きです。

見分けのコツは葉の形で、5枚の小葉が“手のひら＝掌”のように広がることから「掌状複葉」と呼ばれます。また、若い枝には鋭いトゲがあるため、採取時には気をつけてください。群馬県内では、ケヤマウコギやミヤマウコギ、ヒメウコギなどの近縁種も見られ、どの種類も同様の調理で利用できます。採取する人が少なめで見つけやすい、手軽に春を楽しめる穴場的な山菜です。



ヤマウコギの掌状複葉



ウコギ飯



コシアブラ ハリギリ
ウコギの仲間たち

- ヤマウコギ(ウコギ科)
— 観察ポイント —
- ・ 5枚の小葉。ちぎると爽やかな香り
 - ・ 若葉は光沢がある黄緑色
 - ・ 若い枝に鋭いトゲ

トピックス

第38回 研究功績賞表彰の受賞について

きのこ係
齊藤 みづほ

先日、全国林業試験研究機関協議会において、当场きのこ係の松本哲夫主任研究員が第38回研究功績賞を受賞しました。本賞は、長年にわたり試験・研究業務に携わり、森林・林業及び木材産業で成果を積み重ねた方に贈られる栄えある賞です。

松本研究員は平成5年に群馬県庁に入庁し、平成8年に林業試験場に所属して以来、延べ26年間にわたりきのこの栽培技術の試験研究に携わってきました。主な取り組みは「ハタケシメジの品種開発と登録」、「多品目のきのこを組み合わせた自然通年栽培」「マイタケ菌床栽培におけるLED照射、袋カット方法の検討」など多岐にわたっています。また、野生きのこについての豊富な知識を生かし、来場する県民の方々からの相談や観察会の実施など、普及・啓発活動にも努めてきました。

今後もこれまで培った知識・経験を活用して、さらなる活躍と後進の育成に励んでいただきたいと思います。

